

■会長挨拶

明日は皆様にとって最も栄えある、思い出に残るであろう卒業式が待っています。

その貴重な日の前日の今日、宮崎大宮高校弦月同窓会への入会式を設定していただき、宮崎大宮高校の校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして生徒の皆様に心から感謝申し上げます。

思えば、現在の社会情勢、社会環境は全く厳しい状況の中にあります。予想もしなかったニューコロナの発生から3年が過ぎようとしているのではないのでしょうか。ウクライナの人々の厳しい状況下での生活はいつ終わろうとするのか、見当もつきません。

コロナに関しては、4年目を経過しようとしているのに、現在の科学の進歩にもかかわらず衰えを知りません。

3年前、心をときめかせ入学してこられた皆さんは、まったく3年間をコロナウィルスと闘う学生生活だったと思います。学校の貴重な授業をはじめ、学校行事等厳しい制限の中での高校生活でした。

「15才から18才」人生において最も燃えて多感な時期、制限された高校生活だったと思います。大きな不満もあったことでしょう。

このような今までの高校生が体験しなかった3年間をマスク生活という不利な条件を、「不利な高校生活の体験者」として、今後の同窓会の中で、話題にさせていただき、貴重な存在になる努力をしていただくことも価値のあることではないのでしょうか。

「不利、不満を大いに体験したことを宝」とする「逆転の発想」の考え方です。

順調に入学し、順調に学校生活を過ごし、順調に卒業することはもちろん素晴らしいことです。しかし紆余曲折があった3年間の思い出は、皆さんの心に、強く永遠に残るでしょう。弦月同窓会に入会され、10年後、20年後に再開され、出会った時に、まず出てくる言葉、場面は「3年間のマスク生活」の強烈な思い出から始まるかもしれません。

日本を代表する総合文芸月刊雑誌「文芸春秋」を愛読していますが、毎月最初に開くグラビア記事は、長年続いている「同級生交歓」という記事です。社会に出て、それぞれの道で活躍されている中年以上の方々が、かつて学んだ高等学校の校門の前に立たれ、心を解放された少年、少女の気持ちにより5、6人で寛がれている写真に、母校で学ばれたこと、遊ばれたこと、ふざけたこと等が語られています。小学校、中学校、高校、大学等がありますが、特に高等学校の「同窓生交換」が多いのが印象的です。

宮崎大宮高校弦月同窓会は、会員5万5千人を超す、国内でも有数の伝統ある同窓会です。県内はもちろん、全国各地において多くの卒業生が活躍しています。東京、大阪、広島、福岡、熊本には支部を持たれ、毎年、それぞれの時期に会合を持たれ、高校時代の思い出を中心に、懐かしさ、人生経験を、目を輝かしてお互いが話しておられる場面に接すると「同窓会の存在価値」を十分に体得いたします。

世の中にはいろいろな会合がありますが、「同窓会」特に「高校時代」の数年後、数十年後の「同窓会」には思い出に花が咲くようです。皆様の「宮崎大宮高校弦月同窓会」

への入会を心から歓迎いたします。

● 最後に、私が皆様に厚かましく期待する言葉を贈りたいと思います。

「VSOP」という造語です。V... VITARITY活力をもって、S... SPECIALTY専門性を身に
着け、O... ORIGINALITY独創性を持ち、P... PERSONARITY最後は人間性！

そのためには、多くの人と交流しましょう。多くの趣味を持ちましょう。多くの会合に
は進んで参加しましょう。そして失敗を恐れず、チャレンジしていきましょう。私流のこ
とばでいえば「フレッシュ&アクション！」です。

令和5年2月28日

宮崎大宮高等学校弦月同窓会

会長 内藤 泰夫

■入会者代表挨拶

私たち第75回卒業生の弦月同窓会入会に際して、心強いお言葉をいただきありがと
うございました。明日私たちはこの宮崎大宮高等学校を卒業し、弦月同窓会の仲間入りを
させていただきます。長い伝統を持つ弦月同窓会の一員になれることを心より嬉しく思
います。

私たちの高校生活は幕開けをとともに全国一斉休校、自宅学習と、仲間を想って闘志を
燃やして闘うこと、机に向かって学問に励むこと、コロナ禍を過ごしてきた私たちには、
これらの当たり前前の光景こそが、この三年間を色濃く象徴するものです。

激動する新しい時代を生き抜くには「生きる力」が不可欠です。真理を探り、美に憧れ、
善を行う「真美善」の精神は私たちに力を与えてくれます。未来に光を求め、困難を乗り
越える強さを持つ自己を確立することで、人生を価値あるものにしていきたいと思
います。

これから宮崎大宮高等学校、そして弦月同窓会の存在が「永遠の星座」となって、私
たちを導き、人間性を大いに高めてくれるものと信じています。歴史ある宮崎大宮高等
学校で学んだこと、弦月同窓会の先輩方が受け継いでこられた伝統を道標として、志
を高く持って努力することをここに誓って同窓会入会の挨拶といたします。

令和5年2月28日

第75回卒業生代表

押川 一心



※ ご挨拶をされる内藤会長



※入会者代表挨拶をされる押川一心さん

以上